

令和2年度 公益社団法人 静岡県作業療法士会 第4回理事会議事録

1. 開催日時 令和2年10月10日 午後1時00分～5時00分
2. 開催場所 コロナウイルス感染対策のため ZOOMにて開催。一部事務局にてリモート形式で参集。
3. 出席者（順不同）

| | | | | | | |
|------|-----------|--------|-------|-------|-------|------|
| 理事総数 | 15名 | | | | | |
| 出席理事 | 15名 | | | | | |
| 代表理事 | 岡庭 隆門（議長） | | | | | |
| 理事 | 三井 忍 | 村岡 健史 | 大庭 俊裕 | 秋山 尚也 | 林 正春 | 建木 健 |
| | 岡本 博行 | 川口 恭子 | 伊井 玄 | 稲葉 洋介 | 生田 純一 | |
| | 齊藤 洋平 | 藤田 さより | 大石 裕也 | | | |
| 監事 | 遠藤 浩之 | 秋山 恭延 | | | | |
| 事務局 | 高岡 留美 | 大塚 昭宏 | 市川 志帆 | 武内 元 | | |

4. 決議事項

- 第1号議案 静岡社会健康医学大学院大学の取り扱いについて
- 第2号議案 委員講師の推薦・派遣依頼について
- 第3号議案 規約検討委員会より検討・提案事項（各部局規定 その他）
- 第4号議案 立ち入り検査に関して（12月22日決定）
- 第5号議案 下半期事業計画修正について（各部からの計画修正）
- 第6号議案 その他（各部局からの決議事項）

5. 報告事項

- 報告第1号 学会進捗状況
- 報告第2号 47委員会（9/12）報告
- 報告第3号 各部・WG報告（職務執行状況・修正対応の報告）
- 報告第4号 その他

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

- 第1号議案 静岡社会健康医学大学院大学の取り扱いについて
静岡県健康福祉課主導で行う事業
 - ・学生募集の広報依頼 ⇒ 承認
 - ・各施設の施設長推薦および職能団体の推薦入学の枠がある。県士会として、推薦に対する検討をする ⇒ 承認
- 第2号議案 委員講師の推薦・派遣依頼について
 - ・静岡市精神保健福祉審議会委員の推薦 ⇒ 山本晃弘氏（グリーンワークス リラ）を推薦
 - ・静岡県立掛川特別支援学校講師派遣 ⇒ 小笠原誠氏（生活介護・就労継続支援施設「かがやき」）を派遣
 - ・精神障がいにも対応した地域包括ケア連絡会構成員の推薦 ⇒ 明石幸子氏（神経科浜松病院）を推薦
 - ・令和3・4年度伊豆の国市介護認定審査会審査委員の推薦 ⇒ 川口典宏氏（順天堂大学静岡病院）を推薦
- 第3号議案 規約検討委員会より検討・提案事項（各部局規定 その他）
各部局規程，各規程を作成。就業規則・パートタイム就業規則について，検討事項を報告（交通費，退職金・賞与など。法人内での裁量にて判断可能なものは午前3役会議で検討済み）
⇒ 本日提示した規約を来週10/16までに確認し，異論なければ承認とする。
- 第4号議案 立ち入り検査に関して（12月22日決定）
スケジュール，検査内容について報告。今後規約検討委員会にて準備を進め，前日に事務局隣の会議室にて，最終準備を行う。勝又和也前理事にもご参加いただく ⇒ 承認

第5号議案 下半期事業計画修正について（各部からの計画修正）

実施事業は少なかったが、研修会等の中止に伴った当初予算との誤差は少なく収支相償は達成。次年度の会費を減額する意見もあったが、研修会費等の減額を検討していく。

（意見）

- ・収支が見合うように各部局の運営状況に応じた参加費設定をしてはどうか（三井）。
 - ・現職者共通研修は、県の裁量で決めているため、設定を変更できる（村岡）
 - ・web研修会は運営スタッフが増加に伴い予算増額する（稲葉）
- ⇒ 研修会費の減額で調整する。今年度は3,000円を上限として、運営状況に応じて適切な金額で設定。次年度以降は、改めて審議する。

上半期事業について、会員の立場からは研修会や学会が中止されており、収支の詳細が不明瞭。中間報告など説明ができると分かりやすい。 ⇒ 報告するよう進める。

第6号議案 その他（各部局からの決議事項）※各部下半期の事業計画の変更点について報告

1) web研修会についての協議

知識のあるスタッフがいる中での運営が必須（トラブルへの対応ができない）。IT対応に関するサポートチームが必要ではないか（三井）

受信側の環境がバラバラで、電話対応が煩雑であった。人員配置や機器のセッティングに関するマニュアルは作成できるがプロジェクトチームがあると良い（村岡）

⇒ 各部局web対応の部員を人選。教育部中心に『web運営委員会』を立ち上げる。（承認）

2) 学術部

①本部：学会に関して本部がどう関わるか検討。

②事業計画：各地区・各班下半期に向けた計画を報告。福祉用具班について検討会（組織体制や方針について、また会員の人材育成と協会への対応のすみ分けについて）を予定。

③新規部員：【本部】1名

【各班】精神科：3名増員

高次脳：1名増員

小児：2名増員

⇒ 上記承認

3) 教育部

①事業計画：臨床実習指導者研修会、MTDLP（web研修に向けた準備）について報告。

②生涯教育手帳押印作業：郵送で事務局へ送ってもらい、教育部で押印作業を行い返送。

⇒ 1回行い反応をみて再度方法を検討。

③新入オリエンテーションでの2名の欠席者について、事前納入は済ませていたが、連絡なく欠席となった。参加費の取り扱いについて審議したい。個別対応として事情を確認する。併せて今後の対応として、返金についてキャンセルポリシーを作成。作成までは返金しない方向で進める。 ⇒ 承認

4) 広報部

広報目的のノベルティについて候補の選定（5つ提案）。予算（80万円）内で検討。

ビブスが以前提案されていた。衣類については、着回しや着やすさも考慮し検討。

⇒ 広報部での取りまとめは承認。今後内容は検討。

5) 福利部

事業計画：静岡OT座談会（仮）の開催について、webを活用して、「パパママ会員」や「ライフワークバランス」を対象・目的に開催したい。日程調整後、会員へ周知頻度は1回開催で2部構成など検討する。 ⇒ 承認

6) 制度対策部

制度関連の研修会を開催してきたが、社会における課題（高齢化、人口減、医療介護福祉関連）に対する研修会の開催を検討中。 ⇒ 承認

7) 地域包括ケアシステム推進委員会

事業計画：地域リハビリテーション活動支援事業の実態調査、活動報告と活動に対する意見交換タウンミーティング（各地区web開催）を開催。 ⇒ 承認

8) 事務局

新規入会者：85名 ⇒ 承認

9) 財務部

コロナ禍であり予算執行率3割程度。会費については来年度も例年通りで徴収。 ⇒ 承認

10) 第34回学会

オンラインのみの学会開催をしたい。総会や表彰委員会については随時検討。⇒ 承認
参加費の減額など、詳細に予算立てを行い会員へ還元できる体制整備をする。

参加人数が500人以上になると思われ大規模のオンライン開催となると、専門業者への依頼を視野に見積もりも検討が必要。

11) その他

事例検討をweb会議で開催する場合、個人情報保護や取扱の観点から慎重に進めてほしい。

規約検討委員会での審議を進めていく。⇒ 承認

8. 報告事項

報告第1号 学会進捗状況

第34回学会：毎月web及び対面での会議開催。公開講座は予算の関係上、別の候補者を検討中。

報告第2号 47委員会(9/12)報告

会員管理システムの移行遅延と協力要請、手帳の移行への対応協力、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、臨床実習指導者研修会について議題があった。

報告第3号 各部・WG報告(職務執行状況・修正対応の報告)

1) 学術部：本部・各地区・各班の活動報告

2) 教育部

・新入オリエンテーション(9/27web研修)参加者：97名、スタッフ：8名

・臨床実習指導者研修会4回(全web開催)。1回目の参加者(81名)が決定。

現在2回目の参加者の募集期間

3) 広報部：会報誌スケジュール、HPにコロナ情報を随時掲載、ホームページアクセス数を報告
HPアクセス数について、理事会で報告していく。

4) 渉外部：会長渉外活動について報告

5) 福利部：リーダー育成研修会は参集での研修会にしたいため、次年度以降に情勢を鑑み検討。

6) ライフワークバランス

福利部との共同企画として座談会(web)を開催予定。テーマ・内容について、今後の県士会への提案や県士会の活動に反映するよう進めていく。

7) 地域事業部

・5つの活動が中止となった。

・清流館高校出前講座(10/26)事業計画書報告

・事業の中止に伴い代替案も出たが、養成校の発信しているものとの差別化や一般市民のHPへのアクセスが未知数でもあり進捗なし。

8) 地区【東部】メール網10件配信

【中部】静岡市認知症ケア推進センターが完成。作業療法士の啓発を行った。

【西武】メール網7件配信

9) 調査部：生活行為工夫情報モデル事業 業務連絡会へ参加

ブロック連絡会(東部・中部・西部)の区割りや今後の進め方について報告

10) 中長期ビジョン

アンケートをクラスター解析したため、その結果を報告。継続して生涯教育を継続するための意見や県士会への要望が集約でき今後の県士会の方向性を裏付ける内容となった。

会員への周知に関して、広報誌に留まらず、研修会等での報告も検討する。

11) 制度対策部

障害保健福祉領域における作業療法士の役割に関する意見交換会(11/21web)参加を調整中。

12) 地域包括ケアシステム推進委員会

・委員会開催(9/30web)

・日本作業療法士協会地域支援事業に資する人材育成研修参加(10/3web)

13) 災害対策委員会

①OT協会災害連絡シミュレーション実施(9/25)台風接近に備えた本部設置と実運営を体験
LINEでの情報共有やLINE電話を実施は今後も継続

②第9回静岡災害リハビリテーション研修会(YouTubeLIVE放送)：特別講演、シンポジウム

③静岡JRAT・災害対策委員会合同会議 毎月開催

14) 財務部

突合作業、財務部会議随時開催。9月より3名の部員入り随時進めている。

15) 事務局

- ①県士会員数：1,659名（9月30日時点）
- ②会費納入状況：1,481名（89%）
- ③ZOOM利用申請（6月から）：15件（9月末時点）

16) 規約検討委員会

- ・タイムスケジュール：10/24に委員会開催。10・11月の委員会で残りの文書の確認作業。
- ・立ち入り検査前日の集合時間や出欠確認は改めて配信する。

報告第4号 その他

特になし

9. 第5回理事会（候補日）：12月 ①5日、②19日 ※部長交えた拡大理事会

令和2年度理事会開催予定日および開催日

| | 開催日・候補日 | | 備考 | 主な行事 |
|-------|---------|-------------|--------------|-----------------|
| 第1回 | 4月 | 19日（日） | 新人オリエンテーション時 | |
| 第2回 | 6月 | 21日 | （拡大理事会） | 6/21 総会 |
| 第3回 | 8月 | 1日 | 納涼会は延期 | 9月19日（WEB47委員会） |
| 第4回 | 10月 | 10日 | | （OTリーダー研修会） |
| 第5回 | 12月 | 12日 5日 19日 | 拡大理事会，忘年会 | |
| 第6回 | 2月 | 27日 | | 6日・7日（47委員会） |
| 臨時理事会 | 3月 | 14日，20日，21日 | 年度末の会計 | |

議事録作成者 武内 元